

## 認可地縁団体 高尾台町会 令和3年度 第1回 防災会議事録

日 時：令和3年4月18日（日）19：00～19：40

場 所：高尾台町会会館 1階

出席者：防災会議構成員

越野町会長、川原防火管理担当部長、清水アドバイザー、  
稲垣副会長、勝裕副会長、毛利副会長  
杉森総務部長、今井総務委員、竹内総務委員、新田総務委員  
多賀総会計、山崎会計、山田会計、田辺会計  
勝裕（記録）

### 会議次第

#### 町会長挨拶

お忙しいところおあつまりいただきありがとうございます。本日は令和3年度第一回目の防災会議です。この集まっていたメンバーでこれからの防災会議を行いたいと思います。年度初めということで執行部含め新しい顔ぶれでありますので、一言ずつご挨拶をお願いします。（各自挨拶）以上のメンバーで今後防災会議を行っていきたい。

コロナウイルス感染予防のため会議時間をなるべく手短かに終わらせたいので、皆様ご協力をお願いします。

#### 議事内容

##### 1. 令和3年度防災活動計画について

別紙「令和3年度防災・防火活動計画」をもとに説明した。

- ・防災会議は3回/年の開催を予定している
- ・校下一斉防災訓練の実施はコロナ禍のため難しいかもしれないが、9月頃を予定している
- ・防災資機材棚卸しはぼうさい高尾台の方にも協力いただきたい
- ・防災士資格取得に令和2年度は5名の方が合格したが、令和3年度も目標を5名としたい
- ・防火訓練は総合訓練と水消火器による消火訓練を考えており、いずれも町会イベントに合わせて実施したい
  - …水消火器による消火訓練は5月開催予定であったが、バーベキュー大会が中止となったため訓練も中止した。
- ・建物の防火自主点検は防火管理担当部長と実施時期を調整する
- ・防災勉強会と懇談会について、皆様の意見をお聞かせ願いたい

**【議長】**

災害はいつ発生するか分からないため、勉強会や懇談会等は定期的を開催する必要があるが、今後、コロナ禍という現状を加味して無理して開催しなくても良いのか、又は開催の規模を縮小したり、時間を分ける等の方法もあるが、いかがか？

**【意見】**

・竹内総務委員

H29に防災士資格を取得し熱量を持って活動し、続けることに意義を持っていたが、コロナ禍になり活動が一旦止まってしまった。自身では、コロナ禍における避難所運営の在り方について研修で学んだりもした。避難所運営もそうだが、防災に対する方向性も以前とは変わってきていると思う。このような状況下で、できる事を考えていけば良いのではないか。

・清水アドバイザー

以前のように大人数が集まって活動することは難しい。せめて、防災に関係する新しい情報などを町会員に知らせたり、人数を絞って班長に周知したりする機会があれば良い。先ほど、コロナ禍における避難所運営の在り方についてのお話があったが、確かにこれまでとは方向性が変わっている。例えばだが、これまでと変わった点についてポイントを絞り、“LINE”を使用して班長に伝達するだけでも良いのではないか。

また、いざというときに隣近所と連絡が取りあえるような連絡網を整備するなど、このような時にだからこそできる事があるのでは…

もう一つは、情報の伝達についてだが、平常時だからこそ練習できることがあると思う。

最後に、石川県が開催している「シェイクアウト石川」に町会で参加するなど、勉強会にこだわらず、今できる事を考えてみてはいかがか。

**【議長】**

大人数が集まったの勉強会や懇談会の開催は困難だが、いただいたご意見を参考に今後の防災活動を考えていきたい。

2. 令和3年度 予算計画について

防災会議等関係費、防災資機材等購入費について用途ごとに説明した。

- ・広報費の防災関係書籍の購入について

見やすい分かりやすい書籍を購入したく、これから書籍を検索する。

- ・防火管理者講習費について

防火管理者の後継を考え、町会負担で資格取得（講習会受講）希望者を募りたい。

- ・防災施策費について

玄関先に表示する「安否確認表示札」について試作を考えている。

3. 防災懇談会施策概要（案）について

先ほど頂いた意見を参考に活動内容を具体化していきたい。

4. 防災活動実施マニュアルについて

（プロジェクターにて説明）

後日、冊子にして関係者へ配布したい。

5. 防災資機材の追加配備及び非常食等の補充について

- ・防災用資機材で予算 200 千円を計上した

- ・防災用無線機、災害用救急箱、携帯用発電機等の購入を考えたい。

新たに揃える必要のある防災用資機材について防災会議で取りまとめ、役員会に諮っていきたい。

6. 新規防災士及び「ぼうさい高尾台」新メンバーの紹介について

ぼうさい高尾台名簿（令和3年度定例総会資料 31 ページ）でメンバーが紹介された。

7. その他（意見等）

- ・清水アドバイザー

防災会議のメンバーで総務委員と各丁目会計の方にお越しいただいているが、この目的は丁目単位で防災懇談会を開催する際、企画及び開催後の議事録の作成も必須で、費用も必要となってくる。そのため総務委員と各丁目会計の出席が妥当であろうと、取り決めた経緯がある。

・川原防火管理担当部長

防災資機材について、コロナのこの時代に新しく備蓄しておいたほうが良いものがあるれば揃えたほうが良い。例えばマスクや消毒液など、新たに用意したほうが良いものがある。高尾台町会は規模が大きいのでなおさらかもしれない。その点も含めて、防災資機材の購入を考えてはどうか？

**【議長】**

備蓄まではしていないが、会館内での感染症対策としてマスクや消毒液は町会で購入し、ホールに配備している。備蓄という点も含めて検討する（消毒液は消費期限があり、かつ保管が難しい）。

以上、本会議の議事録はホームページに掲載します。